

【暮らす】施策の柱18							
①予算事業名	高速船導入推進事業	予算科目	2-1-10-6	基本構想上の位置づけ 上段：「島づくり目標」 下段：「施策の柱」	安心・快適な生活環境づくり		
②担当部課名	プロジェクト推進課	事業実施(予定)年度	H30~H32	基本計画の該当箇所	交通の便利な島づくり 施策の柱18-2		
③事業内容	高速船導入に向けた事業化に取り組む。 ・高速船導入にむけての検討 ・沖縄本島(久米商船)及び周辺離島との調整 ・検討委員会の開催						
④実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
⑤事業費 【単位:円】		28年度	29年度	30年度	31年度(予定)	32年度(予定)	
	財源内訳	(a)国庫					
		(b)県費					
		(c)地方債等					
		(d)一般財源	98,000	49,000	49,000	49,000	49,000
	計(a~d)	98,000	49,000	49,000	49,000	49,000	
	特定財源名	(a)または(b)の名称		(c)の名称			
⑥事業計画	年度	実施する具体的な事業の内容					
	平成30年度	・久米商船との調整 ・周辺離島との調整 ・検討委員会の開催					
	平成31年度(予定)	・久米商船との調整 ・周辺離島との調整 ・検討委員会の開催					
	平成32年度(予定)	・久米商船との調整 ・周辺離島との調整 ・検討委員会の開催					
⑦成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値 (37年度)
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
事業成果等	平成27年度の町民への調査でも9割の町民が必要があると回答しており、今後も継続して導入の可能性を検討する必要がある。 高速船が導入されることによって、久米島-那覇間の移動手段(時間、料金)が多様化することにより、住民並びに観光客の利便性が向上する。						
⑧写真及び図面							